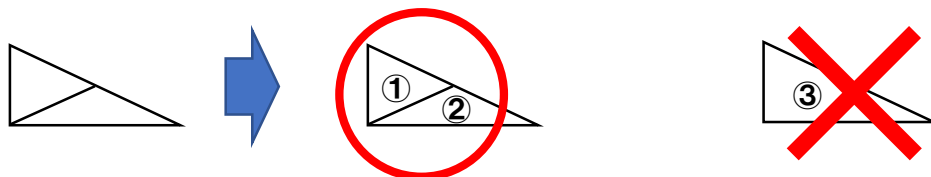


今回は、「直線を▲本ひいて、三角形を●個にする」というパズルを紹介します。

ただし、重なっている場合は、小さい三角形（中に線が入っていないもの）で数えます。

例えば、図の場合は、三角形2個と数えます。重なってできている大きい三角形は数えません。



<ルール>

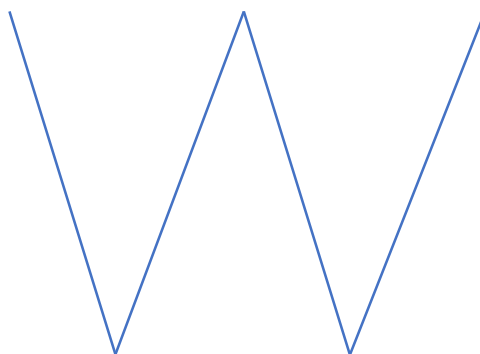
- 直線（まっすぐな線）だけをひきます。直線の本数は、問題で指定されます。
- 三角形は、中に線が入っていない一番小さい三角形を数えます。

<注 意>

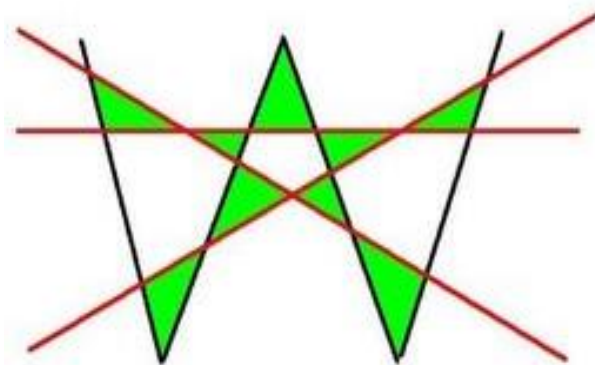
- 間違って四角形も三角形として数えてしまうことがあります。  
慎重に1つずつしっかり見て数えましょう。

**例題**

図のWに、直線を3本ひいて、三角形を9個にしよう。



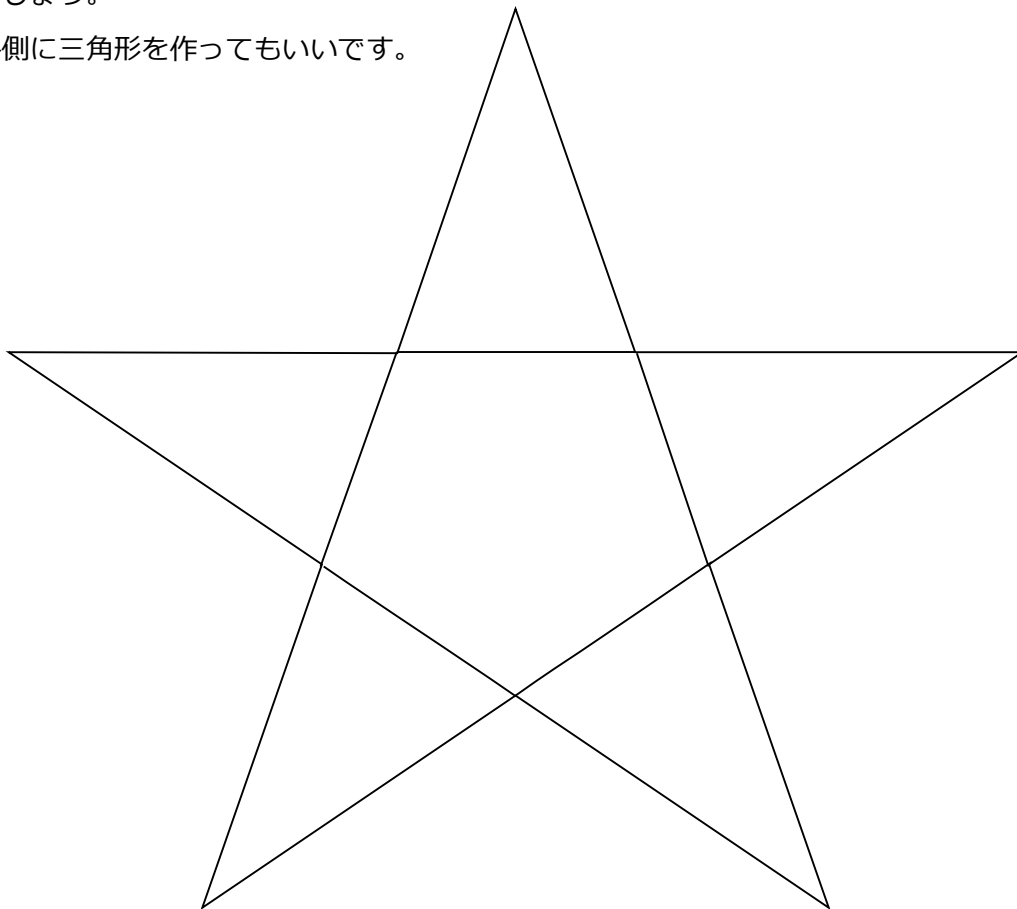
**解答**



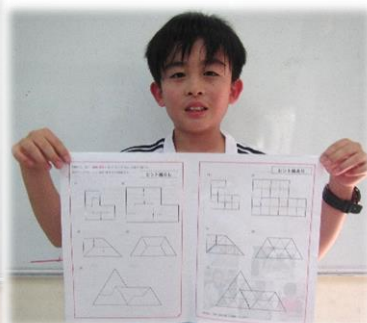
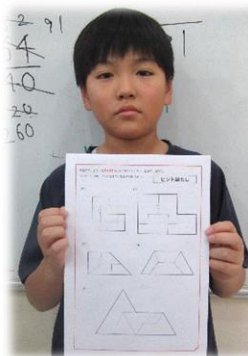
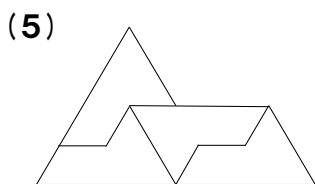
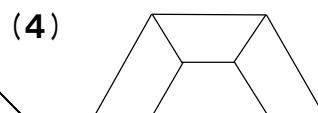
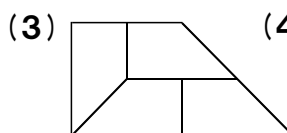
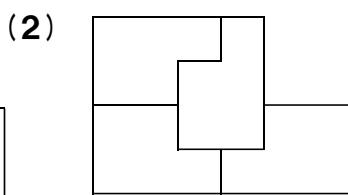
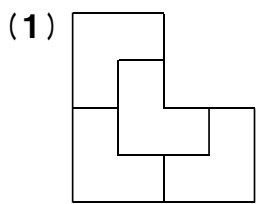
問題です。図の星型に、直線を2本ひいて、三角形を10個にしよう。

※ 間違っ、て、四角形も三角形として数えてしまうことがよくあります。慎重に1つずつしっかり見て数えましょう。

※ 図の外側に三角形を作ってもいいです。



### 前回(第7号)の答え



※ 実はこの問題は全て、もとの形と4つに分けた形が同じ（もとの形を縮小した形が答え）になる問題を集めました。このように「形が同じ（大きさは違ってよい）図形」を「相似（そうじ）な図形」といい、中学3年生で習います。気付いた人はいますか？

※解答は、次号（第9号）に掲載いたします。